

THE 12TH WORLD KENDO CHAMPIONSHIPS, GLASGOW 2003

International Kendo Federation (IKF)

2F, Yasukuni Kudan Minami Bldg.
2-3-14, Kudan Minami, Chiyoda-ku,
Tokyo, Japan 102-0074
Tel: +81-3-3234-6271
Fax: +81-3-3234-6007



The British Kendo Association (BKA)

31 Woodstock Rise, Sutton
Surrey, GB-SM3 9JE, Great Britain
Tel: +44-208-644-1369
Fax: +44-208-644-6150

www.kendochampionships.com/kendochampionships.htm

第 1 2 回世界剣道選手権大会要項

2002年3月21日

1. 主 催 : 国際剣道連盟 (IKF)
主 管 : 英国剣道協会 (BKA)
後 援 : (財)全日本剣道連盟 (AJKF)

2. 開催地および大会会場 : イギリス・スコットランド・グラスゴー
ケルヴィンホール・国際スポーツアリーナ

3. 行事日程 : 2003年7月1日(火) ~ 7月7日(月)

(1) 大会期日 : 2003年7月4日(金) ~ 7月6日(日)

(2) 行 事 :

| 月日 | 行 事 (日中) | (夜) |
|---------|------------------------------------|-----------|
| 7月1日(火) | 審判講習会 | |
| 7月2日(水) | 審判講習会(審判会議) EKF 総会 | |
| 7月3日(木) | 監督会議、団体戦初戦オーダー表提出 IKF 理事会/総会 | IKF 会長招宴 |
| 7月4日(金) | 開会式 女子個人選手権、女子団体選手権 表彰式、親善稽古 | |
| 7月5日(土) | 開始式 男子個人選手権 表彰式、親善稽古 | |
| 7月6日(日) | 開始式 男子団体選手権 表彰式、閉会式 | サヨナラパーティー |
| 7月7日(月) | 全剣連剣道講習会/剣道段位審査会 | |

* 組み合わせ抽選会は、最終エントリー確定後に公開で行なう。(6-(4)参照)

* 参加国は7月3日までに、主管の英国剣道協会大会事務局へ選手団の到着を報告し、3日の監督会議に必ず1名は出席すること。

4. 試合規則

試合は全て国際剣道連盟試合・審判規則（2000年3月23日改訂版）により行なう。（その後の改訂がある場合はそれも含む。）但し試合時間は、後述7-(2)-a および8-(6)-a-1) で定義した時間で行なう。

5. 参加資格

(1) 参加国（参加団体）

本大会に参加できるのは、IKF加盟国（団体）のみとする。但し本大会前年のIKF理事会において、IKF加盟が承認された国（団体）は、本大会に参加することができる。

(2) 参加者

本大会試合に参加する監督および選手は、次の資格を有しなければならない。

- a. 上記参加国（団体）の正式登録会員であること。
- b. 最終エントリーの時点で、代表する国の国籍を有すること。（確認のために、パスポートの提示を求められる）その国の国籍を有しない者については、事前にその国の会長が理由書をIKFへ提出して審査を受け、最終エントリー前にIKF会長の承認が得られた場合のみ認められる。

6. エントリー、出場選手登録および組み合わせ抽選

(1) 予備エントリー

予備エントリーは、IKFおよび主管国が各国の参加予定を把握し、大会規模や費用を見積もるために行なうものである。各国は以下について所定の予備エントリー用紙に記入し、指定の締切日までにIKF事務局へ提出しなければならない。

- a. 第12回世界剣道選手権大会（12WKC）への参加意志
- b. 選手団役員（団長、監督、コーチ、合計5名まで）および選手団選手（男女各10名まで）の予定数
- c. 各競技（男女 個人・団体）への参加意志
- d. 各競技（男女 個人・団体）へ登録する予定の選手数（個人選手権は男女とも最大5名まで、団体選手権は男女とも最大7名まで。）

予備エントリー締切日： 2002年9月30日

(2) 最終エントリー（選手団氏名登録と参加競技登録）

各国は、選手団役員（団長、監督、コーチ、合計5名まで）および選手（男女各10名まで）の氏名を明らかにして、最終的に自国選手団としてエントリーする。エントリー者は前述5-(2)の参加資格を満たさなければならない。各国は以下の項目について所定の最終エントリー用紙に記入し、指定締切日までにIKF事務局へ全員の写真とともに提出しなければならない。

- a. 全員の氏名、年齢、段位、国籍
- b. 各競技（男女 個人・団体）への参加意志
- c. 男女個人選手権へ登録する予定選手数。（男女とも最大5名まで。）

最終エントリーされた選手のみが試合に参加することができる。一旦最終エントリーがIKF事務局に受理された後は、選手団役員・選手とも変更は認められない。男女とも、団体選手権に出場するためには、最終エントリーする選手が5名以上いなければならない。

最終エントリー締切日： 2003年4月1日

(3) 出場選手登録

参加各国が最終エントリーした選手のうち、各競技にそれぞれ出場する選手の氏名を登録するものである。各国は、個人選手権出場選手登録および団体選手権出場選手登録について、それぞれ所定の用紙に記入の上、下記のそれぞれの締切日までに I K F 事務局へ出場選手氏名を提出しなければならない。

- a. 選手は、個人選手権・団体選手権の両方に出場することができる。
- b. 男子は女子部門の試合に、女子は男子部門の試合に出場することはできない。
- c. 個人選手権出場選手登録は、男女とも各5名以下。
- d. 団体選手権出場選手登録は、男子女子ともそれぞれ5名以上7名以下とする。
- e. 団体選手権については、前項の人数が揃わない場合、出場選手登録をすることはできない。
- f. 審判は選手として試合に出場することはできない。

個人選手権出場選手登録 締切日： 2003年4月1日（最終エントリーと同時に）

団体選手権出場選手登録 締切日： 2003年6月13日

(4) 組み合わせ抽選

男女個人および団体選手権予選の組み合わせ抽選は、I K F 役員と主管国剣連会長立合いのもとで、最終エントリー確定後すみやかに抽選会を行ない、各国へその結果を通知する。男女団体選手権予選は、第11回大会の成績に基づき上位チームのシード制とする。（後述 8-(6)-b-3）および図参照。）

なお、組み合わせ確定後に欠場が決まった場合や試合当日欠場があっても、再抽選や組み合わせ変更は行わない。但し、団体選手権については、監督会議の時点で欠場チームが確認された場合は、その欠場チームの属する予選グループ内の組み合わせのみを変更する。

例： 予選 A グループ（a～e の5チームとする）で、c チームの欠場が監督会議で確認された場合、d チームを c チームの位置に繰り上げ、e チームを d チームの位置に繰り上げ、予選 A グループは4チームのグループとして組み合わせし直す。（8-(6)-b-3）および図参照。）

7. 個人選手権試合の方法

(1) 個人選手権に出場する選手は、個人選手権出場選手として出場選手登録された選手でなければならない。

(2) 試合の方法

- a. 試合は、予選および決勝トーナメントとも、男子は時間5分による3本勝負、女子は3分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行なう。延長戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らず行なう。
- b. 予選では、3名で構成されるいくつかのグループを設け、グループ内で総当たり戦を行う。各グループの1位が決勝トーナメントに進出する。（図略）
- c. 予選各グループへの選手の振り分けは抽選による。但し同じ団体の選手は異なるグループに振り分ける。また、グループ構成の際端数のある場合は2名をもって1つのグループとする場合がある。
- d. 予選グループ内の順位決定方法
 - 1) 勝ち数の最も多い者が、決勝トーナメントに進出する。
 - 2) 勝ち数が同じ場合は、取得本数の多い者を上位とする。
 - 3) 勝ち数も取得本数も同じ場合は、該当者間の試合によって決勝進出者を決定する。試合方法は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行なう。
 - 4)

(3) 表彰

1位、2位、3位(2名)および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はIKF会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

8. 団体選手権試合の方法

- (1) 団体選手権は男女とも一部制とし、各団体から1チームが参加できる。
- (2) 男女とも、1チーム5名以上7名以下の出場選手登録済みの選手で構成されなければならない。
- (3) 試合は男女とも5人制により勝敗を決する。(なお、試合当日において、登録選手の棄権により出場選手が3名に満たなくなった場合、そのチームは団体選手権試合に出場することはできない。)
- (4) 試合毎の出場選手は、団体選手権出場選手として出場選手登録された選手の中から選ばれ、その編成は試合の都度変更できる。
- (5) 試合の出場選手オーダー表は、直前の試合の開始前に、その試合場の審判主任に届けなければならない。なお、届出のない場合は前回試合のオーダー表に変更がないものとみなす。(但しそのチームの最初の試合のオーダー表は、監督会議後に大会事務局へ提出されなければならない。)

(6) 試合の方法

a. 個々の試合

- 1) 個々の試合は、予選および決勝トーナメントとも、男子は時間5分による3本勝負、女子は3分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- 2) 選手が健康上およびその他の事由により試合を棄権する場合、その試合は棄権側を負けとし、相手選手に2本を与える。但し双方の選手とも棄権した試合は、どちらにも勝敗・本数を与えない。
- 3) 代表者戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行なう。

b. 予選

- 1) 8組の予選グループ(A~H)を設ける。
 - ① 参加チームが24以下の場合、各グループは2~3チームで構成される。
 - ② 参加チームが25~32の場合、各グループは3~4チームで構成される。
 - ③ 参加チームが32を超える場合は、各グループは4~5チームで構成される。
- 2) 予選試合方法
 - ① グループを構成するチーム数が3以下の場合、グループ内において通常の総当り戦を実施し、グループ内順位を決定する。
 - ② グループを構成するチーム数が4以上の場合、グループ内で次のような方式で試合を実施し、グループ内順位を決定する。(各チームは予選において2試合を行なう。)

(a~eをグループ内チーム名とした場合)

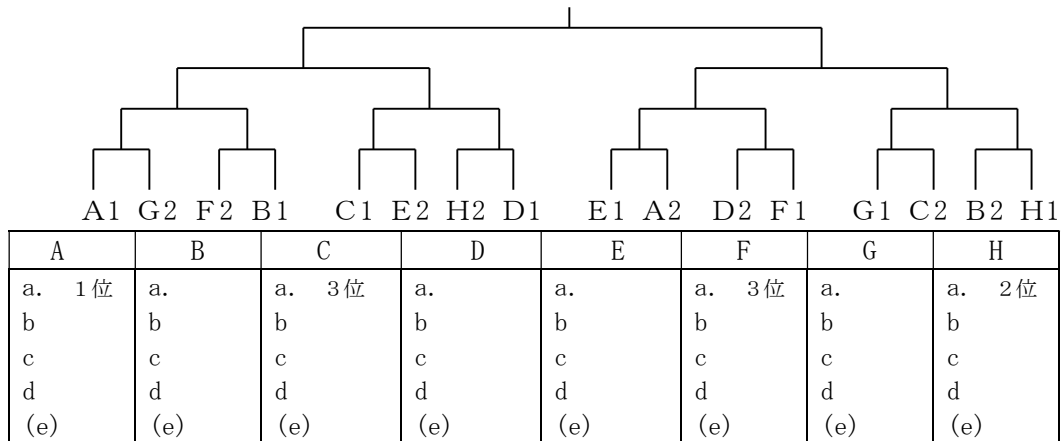
< 4チームの場合 >

a vs b
c vs b
c vs d
a vs d

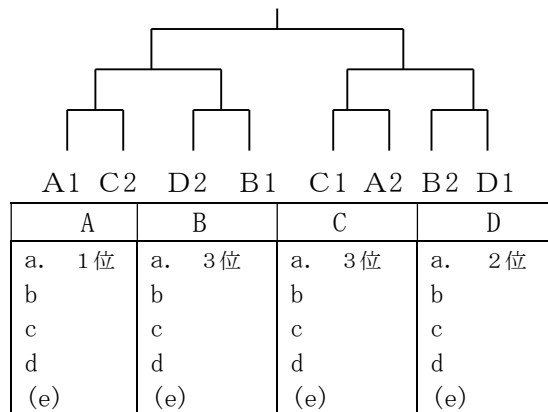
< 5チームの場合 >

a vs b
c vs b
c vs d
e vs d
e vs a

- 3) 各予選グループへのチームの振り分けとグループ内での配置は、抽選による。但し第11回大会の1位から3位までの4チームをシードとし、それぞれ別のグループに振り分ける。シードチームの振り分けは下図の通りとする。(3位位置は抽選)



なお、最終エントリーの時点において、団体選手権参加国が40を超えた場合は、前述の予選グループ数または決勝トーナメント対戦組み合わせを、再検討し変更する場合がある。また、最終エントリーの時点において、団体選手権参加国が20以下だった場合は、予選グループを4組とする。(下図参照、シードチーム3位位置は抽選。)



- 4) 予選におけるチーム同士の対戦の勝敗は、以下のようにして決定される。
- ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ② 勝者数が同じ場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。
 - ③ 勝者数も取得本数も同じ場合は引き分けとし、代表者戦は行なわない。
- 5) 各予選グループ内の対戦による成績で上位の2チームが決勝トーナメントへ進出する。
- 6) 予選グループ内の順位決定方法は次の通りとする。
- ① チームとしての勝ち数が多い方を上位とする。
 - ② チームとしての勝ち数が同じ場合、負け数の少ない方を上位とする。
 - ③ 上記①・②が同じ場合、勝者数の多い方を上位とする。
 - ④ 上記①～③が同じ場合、取得本数の多い方を上位とする。
 - ⑤ 上記①～④が同じ場合、
 - ・グループ内1位・2位の決定は行なわないが、決勝トーナメントのポジション決めは抽選で行なう。
 - ・グループ内2位・3位の決定については代表者戦によるものとする。
 - ⑥ グループ内で上位の3チーム以上が上記①～④についてまったく同じ場合は、当該チーム代表による総当りの代表者戦で順位を決定する。

c. 決勝トーナメント

- 1) 決勝トーナメント1回戦では、各予選グループの1位チームは原則として他のグループの2位チームと対戦する。(前述図参照)
- 2) 決勝トーナメントにおけるチームの勝敗は、以下のようにして決定される。
 - ①勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ②勝者数が同じ場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。
 - ③勝者数も取得本数も同じ場合は、代表者戦により勝敗を決定する。

(7)表彰

男女それぞれにおいて、1位、2位、3位(2チーム)および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はIKF会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

9. 大会役員および審判員の選任

- (1) 大会役員の任命は、前回大会に準じて、IKF本部が行なう。
- (2) 審判団は、審判長1名、審判主任4名、審判員24名以上、計29名以上で構成する。
- (3) 審判員の選任

a. 選考

IKF加盟団体会長は、次の①から⑤に定められた条件を満たす者(各国6名以下)を、所定用紙にてIKF会長に推薦する。各国からの推薦者にIKF会長推薦の者を若干名加えた候補者の中から、IKF会長が委嘱した選考委員会が12WKC審判員を選考する。

- ① IKF加盟団体の会員であり、原則として当該国の国籍を有する者。
- ② 年齢35歳以上、70歳以下(2003年1月1日時点)の者。
- ③ 剣道5段以上を有し、健康体であり、常時稽古に参加している者。
- ④ IKF剣道試合・審判規則を熟知し、国際大会や国内選手権大会および同程度の大会の審判経験が豊富で、審判能力の高い者。
- ⑤ 第11回大会以降、IKFゾーン別審判講習会に最低1回は参加しており、かつ大会前に行なわれる第12回世界剣道選手権大会審判講習会に必ず出席できる者。

b. 審判員の委嘱

IKF会長から選考された者の通知を得た加盟団体会長は、委嘱を受けた本人の諾否の確認結果を直ちにIKF事務局に報告するものとする。

c. 審判長、審判主任および日本人審判員はIKF会長が指名する。

10. 費用の負担区分

- (1) 全ての参加者は、それぞれの国と開催地の往復旅費、滞在中の宿泊費および食費を自己負担とする。特に大会期間中の宿泊費、食費の負担額、予約および支払方法等詳細については、主管の英国剣道協会から事前に参加各国へ指示されるので、その指示に従うこと。
- (2) 審判員については、審判講習会前日(6月30日)の夕食から審判講習会翌日(7月3日)朝食までの宿泊および食費をIKFが負担するものとし、相当額を各審判員が所属するIKF加盟団体へ支給する。その他の大会期間中の宿泊および食費は自己負担またはその審判員が所属するIKF加盟団体負担とする。
- (3) 大会および関連行事にかかわる費用については、IKFおよび主管の英国剣道協会が協議の上、それぞれの負担分を決定する。

11. その他

- (1) 各国選手団、審判、I K F 役員は、開催地に到着後、必ず大会事務局へその到着を連絡し、主管の英国剣道協会から必要書類や資料等を受け取らなければならない。
- (2) 試合の直前に行なわれる選手の呼び出しがあつてから5分以内に現れない選手は失格とし、その試合に出場できず、不戦負けとなる。
- (3) 担当審判員の合議により、薬物（アルコール類を含む）の影響下にあることが明瞭と認められた選手は失格とされ、その試合に出場できず、不戦負けとなる。なお、大会期間中または大会期間前後にドーピング検査が実施される場合は、実施詳細について、主管である英国剣道協会より参加各国へ事前に連絡がなされる。
- (4) 選手は自国において旅行期間中の傷害保険に加入することとする。

(以上)